



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社 フライトホールディングス
 コード番号 3753 URL <http://www.flight-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 圭一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 松本 隆男
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3440-6100

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,770	53.3	577		591		597	
2020年3月期第3四半期	3,791	319.1	755		700		532	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 595百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 533百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	63.24	
2020年3月期第3四半期	56.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	2,011	117	5.9	12.46
2020年3月期	2,294	712	31.1	75.40

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 117百万円 2020年3月期 712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,800	18.9	80		90		90		9.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	9,456,500 株	2020年3月期	9,456,500 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,004 株	2020年3月期	1,004 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	9,455,496 株	2020年3月期3Q	9,455,585 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、個人消費や企業の経済活動が制約を受け、極めて厳しい状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、既存顧客向けのシステム開発及び電子決済ソリューション「Incredist」シリーズの開発及び販売に注力いたしました。

コンサルティング&ソリューション事業の大型の基幹システム開発案件において、新型コロナウイルスによる在宅勤務等の影響で一部機能の開発スケジュールが遅延しており、損失見込額として、受注損失引当金繰入額215百万円を売上原価に計上いたしました。本プロジェクトは収束しつつあり、稼働開始後の保守などを含め、プロジェクト全体として利益を出せるよう推進してまいります。

なお、これ以上のスケジュール遅延を発生させないため、新型コロナウイルス感染予防対策として、本社はオフィスを増床してソーシャルディスタンスを確保し、仙台事業所においては座席間パーテーション設置等を行い、プロジェクトメンバーの出勤率を上げ、開発効率を改善しております。

一方、コンサルティング&ソリューション事業のクラウドインテグレーション部は、在宅勤務体制でGoogle社のクラウドソリューション「Google Workspace (旧G Suite)」をベースにしたシステム構築を行っておりますが、これまで通りの開発効率を維持して業務を推進しております。また、新型コロナウイルス感染予防対策のためのテレワークの普及に伴い、社内に配備していたサーバ群をクラウドソリューションに移行する企業が増えており、通期に向けて受注は活況な状況であります。

当社グループでは、様々な開発案件に対応するため、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、withコロナ時代における働き方について、柔軟に対応してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,770百万円（前期比53.3%減）、営業損失は577百万円（前年同期は営業利益755百万円）、経常損失は591百万円（前年同期は経常利益700百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は597百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益532百万円）となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
C&S事業(*)	435	610	△175	△28.7%
サービス事業	1,189	3,068	△1,879	△61.2%
ECソリューション事業	146	112	34	30.4%
調整額	—	—	—	—
売上高	1,770	3,791	△2,020	△53.3%
C&S事業(*)	△191	△219	27	—
サービス事業	△186	1,177	△1,363	—
ECソリューション事業	6	1	5	291.3%
調整額	△206	△203	△2	—
営業損益	△577	755	△1,333	—
経常損益	△591	700	△1,292	—
親会社株主に帰属する四半期純損益	△597	532	△1,130	—

(*) C&S事業：コンサルティング&ソリューション事業

セグメントの業績は次のとおりであります。

① コンサルティング&ソリューション事業

コンサルティング&ソリューション事業においては、事業会社の基幹システム開発及び既存顧客向けのシステム開発・保守等を行いました。

また、上記に記載したとおり、大型の基幹システム開発案件において、受注損失引当金繰入額215百万円を売上原価に計上いたしました。

以上の結果、売上高は435百万円（前年同期比28.7%減）、営業損失は191百万円（前年同期は営業損失219百万円）となりました。

② サービス事業

サービス事業においては、電子決済ソリューション「Incredist」シリーズの開発及び販売、並びに無人精算機向けの決済ソリューションやマイナンバーカード関連の新サービスの開発に注力いたしました。

前期に「Incredist Trinity Mini」の大型案件の納品があった反動により、減収減益となりましたが、当第4四半期には大口顧客向け「Incredist Premium II」の納品を控えており、通期は予算並みの着地を予定しております。

以上の結果、売上高は1,189百万円（前年同期比61.2%減）、営業損失は186百万円（前年同期は営業利益1,177百万円）となりました。

③ ECソリューション事業

ECソリューション事業においては、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B」の開発及び販売に注力いたしました。

来年度まで続く大型案件を受注しており、成長軌道に乗り始めています。

以上の結果、売上高は146百万円（前年同期比30.4%増）、営業利益は6百万円（前年同期比291.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ282百万円減少し、2,011百万円となりました。主な増減要因は、現金及び預金の減少(1,032百万円減)、前渡金の増加(182百万円増)、商品の増加(133百万円増)及び仕掛品の増加(338百万円増)であります。

負債は、前連結会計年度末と比べ312百万円増加し、1,894百万円となりました。主な増減要因は、前受金の増加(287百万円増)であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ595百万円減少し、117百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上(597百万円)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日(2021年2月12日)公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,575,694	543,019
売掛金	227,110	158,314
商品	105,894	239,828
原材料	12,504	53,871
仕掛品	36,573	374,845
前渡金	180,229	362,261
その他	25,159	137,934
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	2,162,166	1,869,074
固定資産		
有形固定資産	54,717	49,578
無形固定資産	7,687	13,188
投資その他の資産	69,740	79,950
固定資産合計	132,146	142,717
資産合計	2,294,312	2,011,792
負債の部		
流動負債		
買掛金	274,365	155,204
短期借入金	11,664	22,796
1年内償還予定の社債	96,000	124,000
前受金	384,594	672,308
未払消費税等	121,714	-
未払法人税等	104,573	-
受注損失引当金	76,700	287,500
その他	79,779	57,658
流動負債合計	1,149,391	1,319,468
固定負債		
長期借入金	208,621	222,353
社債	204,000	328,000
資産除去債務	17,078	20,678
その他	2,300	3,500
固定負債合計	431,999	574,531
負債合計	1,581,391	1,894,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,205,123	1,205,123
資本剰余金	1,195,798	1,195,798
利益剰余金	△1,688,217	△2,286,173
自己株式	△1,452	△1,452
株主資本合計	711,252	113,296
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,668	4,495
その他の包括利益累計額合計	1,668	4,495
純資産合計	712,920	117,792
負債純資産合計	2,294,312	2,011,792

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	3,791,784	1,770,872
売上原価	2,485,145	1,855,212
売上総利益又は売上総損失(△)	1,306,638	△84,340
販売費及び一般管理費	550,751	493,241
営業利益又は営業損失(△)	755,887	△577,581
営業外収益		
受取利息	54	6
助成金収入	2,713	4,365
その他	133	2,104
営業外収益合計	2,901	6,476
営業外費用		
支払利息	48,519	1,609
支払手数料	8,779	14,210
その他	959	4,806
営業外費用合計	58,258	20,627
経常利益又は経常損失(△)	700,530	△591,732
特別損失		
固定資産除却損	-	1,229
事務所移転費用	-	1,153
特別損失合計	-	2,383
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	700,530	△594,115
法人税、住民税及び事業税	166,887	2,640
法人税等調整額	700	1,200
法人税等合計	167,587	3,840
四半期純利益又は四半期純損失(△)	532,943	△597,956
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	532,943	△597,956

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	532,943	△597,956
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	456	2,827
その他の包括利益合計	456	2,827
四半期包括利益	533,399	△595,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	533,399	△595,128

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	コンサルティング &ソリューション事業	サービス事業	ECソリューション 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	610,917	3,068,823	112,044	3,791,784	-	3,791,784
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	610,917	3,068,823	112,044	3,791,784	-	3,791,784
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△219,331	1,177,367	1,788	959,823	△203,936	755,887

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	コンサルティング &ソリューション事業	サービス事業	ECソリューション 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	435,552	1,189,197	146,122	1,770,872	-	1,770,872
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	435,552	1,189,197	146,122	1,770,872	-	1,770,872
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△191,958	△186,303	6,998	△371,262	△206,318	△577,581

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。